



佐倉三田会だより

第5号

けいおん会報

会長ご挨拶

会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平成13年7月1日に「佐倉三田会」創立以来、早くも6年目を迎えることになりました。

その間、諸先輩の方々をはじめ、会員の皆様のご協力により立派に育って参りましたことは大変うれしく、また心から深く感謝申し上げます。

特に申し上げるべきことは平成18年2月25日の第五回サロンで母校の「多田真鋤先生」の格調高いご講話を拝聴できたことです。

また、今年は600余名の方々に「総会通知」と「佐倉三田会だより」を送付し、広く大勢の方々に、「佐倉三田会の存在とその活動状況」を認識していただき、一人でも多くの方が「佐倉三田会」に参加いただくよう努めました。

「ゴルフ部」・「囲碁部」・「サロン部」の活動もますます活発になってきておりますことも、大変心強く思っております。

役員一同「佐倉三田会」の発展のため、これからも内容の充実した活動を計画して参りますので、会員の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、各種「イベント」に積極的にご参加いただくよう希望いたします。

佐倉三田会会長 大木利之助
(S32 政卒)

第6回総会のご案内

日時：平成18年7月2日(日)
16:00~19:00
場所：ウイシュトンホテル・
ユーカリ

会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。佐倉三田会の活動に就いては、平素より大変ご協力・ご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。さて今年も恒例によりウイシュトンホテル・ユーカリにて総会並びに懇親会を開催いたします。今年、観世流シテ方楽師である九世橋岡久太郎先生をお迎えして、講演をいただく予定です。(ご紹介後記)

楽しく、和やかな懇親会となりますよう、多数のご参加をお待ち申し上げます。

佐倉三田会会長 大木利之助

第5回総会並びに懇親会

総会の部

平成17年7月3日(日)午後4時より「ウイシュトンホテル・ユーカリ」にて、開催した。出席者は40名。

第5回総会は川名部幹事の開会宣言によって始まり、全員で「塾歌」を斉唱し笹島



島稯会長の挨拶の後、議長として岩吉副会長を選出し審議に入った。先ず、平成16年度活動報告、同会計報告と監査報告及び

佐倉三田会則改正を上梓した。引き続き、17年度の役員改選(顧問の新設など)と活動予定(案)及び予算(案)の審議を行なった。以上総ての審議事項に就いては異議なく全員の賛同を以て終了することが出来た。最後に、ご来賓各位のご紹介の後、大木利之助新会長より謝意を述べて、無事総会は終了した。

第5回総会の特記事項

- ▶ 過去4年間に亘りご指導いただいた笹島会長が勇退顧問に就任。
- ▶ 新会長として大木利之助氏(ゴルフ愛好会会長)が就任。
- ▶ 幹事4名の増員を得て、更なる発展を図った

『新役員・幹事(敬称略)』及び『ご来賓出席者』

新役員

顧問： 笹島稯 (前期会長)
 会長： 大木利之助 (前期ゴルフ愛好会会長)
 副会長： 新保雅義 (前期代表幹事)
 代表幹事： 保谷貞男 (新任)
 幹事： 中根春夫 (新任)
 幹事： 永井瑞枝 (新任)

来賓出席者(以下5名)

慶應義塾大学	基金室課長	山本俊次様
八千代三田会	副会長	福田省三様
千葉三田会	会長	川口幸雄様
佐倉稲門会	会長	花川 宏様
	同顧問	田中基雄様

懇親会の部

総会後会場を移して、鈴木幹事の司会で期待の懇親会が始まった。先ず、来賓のご祝辞を頂戴した後、信宮田基愛好会会長の乾杯の発声で開宴、和やかな雰囲気の中でしばし歓談が続いた。初参加会員(後藤幸生、高安均、高橋雅子、永井瑞枝「敬称略」)の自己紹介、各愛好会の活動報告などがあり、アトラクションとしてジャズピアニスト、柘山りょう氏を迎え、同氏の解説を交えながら約1時間に亘りジャズを堪能した。

最後に、高橋保夫氏(応援指導部OB)の指揮で「若き血」を高らかに歌って散会した。(S36 商卒) 岩吉外茂治

平成17年度活動報告

平成17年

- 4/24(日) 佐倉三田会創立5周年記念 新保友紀子リサイタル 佐倉市民音楽ホールにて
- 5/21(土) 第3回三田会サロン(詳細後記)
- 5/30(月) 第4号佐倉三田会だより発行
- 6/1(水) 慶應連合三田会 帝国ホテルにて
- 6/12(日) 八千代三田会総会
- 6/18(土) 佐倉稲門会総会
- 7/3(日) 第5回佐倉三田会総会 ウイシュトンホテルにて
- 10/16(日) 連合三田会2005年大会 日吉キャンパスにて
- 10/30(日) 第4回三田会サロン(詳細後記)
- 12/4(日) 佐倉三田会忘年会 割烹ふくべにて

平成18年

- 2/22(水) 千葉三田会総会
 - 2/25(土) 第5回三田会サロン(詳細後記)
 - ◆ 8、12月を除く毎月最終日曜日に幹事会開催
 - ◆ ゴルフ、囲碁愛好会については各部の報告をご覧ください
- (S38 経卒) 保谷貞男

慶應義塾創立150年記念事業 (Keio-150)への協力について

「Keio-150」の内容は、「創立150年記念事業」(事業計画・基金などに関するお知らせ)及び「未来への先導」(平成17年11月初旬送付)等により皆様ご存知のとおりです。私達はその趣旨に賛同し、募金活動に協力したいと思います。「Keio-150」は私達の生涯で「今、この時」しか巡り合うことが出来ません。「塾への帰属意識」・「塾員たることの自負」・「塾員たることの喜び」を強く持ちたいと思います。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、「佐倉三田会」としては、「創立150年記念事業室」の推薦する「第3の方法」即ち「佐倉三田会が各個人に勧誘し、各個人が直接募金を申し込む。この場合、振込用紙の記事欄に佐倉三田会と記入する」という塾の指示する方法を採用したいと思っております。なお、佐倉三田会も組織としての募金協力を別途考えて

おりますので、皆さまのお知恵を拝借したいと存じます。この募金運動についての質問或いは振込用紙の入手等についてのお問い合わせは下記へお願いいたします。

「創立150年記念事業室」
 ■ Tel: 03-5427-0150
 ■ Fax: 03-5427-1130
 ■ e-mail: info@keio150.jp
 佐倉三田会会長 大木利之助

「佐倉三田会未加入の塾員」の皆様へ

毎年7月の第一日曜日に開催される年次総会で先輩・後輩の垣根を取り払い、塾員としての共通認識のもと、初顔合わせでも、直ぐに10年来の知己の如く心を通わせて談笑する姿は、誠に微笑ましいものです。

佐倉三田会には現在「ゴルフ」・「囲碁」という共通の趣味を持つもの同志のグループ活動があります。又、そのいつれのグループにも参加しない会員同志の交流の場を持つことを目的としている「サロン」(懇談会)の場もあります。この「サロン」では母校の先生をお招きしてお話を伺うとか、国立歴史民俗博物館や川村記念美術館を訪ねるといった「アカデミック」なものから、ピアノ演奏のあるフレンチレストランでの音楽と食事を楽しむというものまで、幅広いジャンルに亘ってテーマをもうけて活動しております。

「佐倉三田会」に未入会の塾員の皆さんに申し上げます。「このような明るく楽しい佐倉三田会」に入会して皆さんの人生を「共通の趣味・楽しみ・喜び」を通して、より豊かなものにしようではありませんか。

皆様のご入会を心からお待ちしております。
 佐倉三田会会長 大木利之助

囲碁愛好会

囲碁愛好会は発足以来3年半を経過し、会員相互の親睦あるいは会員の憩いの場として定着しつつあります。



当愛好会では、毎月の定例会と年2回の囲碁大会を催しています。定例会は、毎月第二土曜日、京成佐倉駅前のミレニアムセンターで午後一時から五時まで行な

っています。出席率は高く、毎回10名前後のメンバーが集まっています。対局の後には、「反省会」が待っています。対局で負けた悔しさなど何処へやら、いろいろな話題に花を咲かせています。囲碁大会は、1月に「新年囲碁大会」と期中に一泊での「囲碁大会」を催しています。前者は、ミレニアムセンターで午前10時から午後5時まで、簡単な昼食をはさんでの対局です。後者の大会は、今年6月10日、九十九里の白子温泉で「合宿囲碁大会」を予定しています。心置きなく、とことん対局を楽しんでもらう

ため、いろいろ計画を練っているところです。

対局は全て、持点制で行なわれています。棋力が初段相当の人の持ち点を110点とし、1段(級)の差を10点に換算し、それぞれの人の棋力に応じた持ち点を決めています。対局の結果、勝者は1点プラス、敗者は1点マイナスとなります。年間を通して持ち点が10点以上アップすると、10月の総会で表彰されます。現在会員は、信宮会長(29年工卒)以下13名ですが、160点台の上級者から60点台の級位者まで幅広い層の会員がクラブライフを楽しんでいます。

囲碁は古い歴史と伝統を持った芸術であり、かつては諸葛孔明や関羽も楽しんだといわれるゲーム。そして我々初心者でも、気軽に楽しめ、なお且つ脳の活性化にも役立つという石二鳥のゲームです。初心者の方、これから囲碁を始めようかと思っておられる方、この機会にぜひご入会ください。お待ちしております。

井上隆幸(S39年 法卒) Tel: 043-486-2549

佐倉三田会ゴルフ愛好会



2001年9月に第一回ゴルフ大会が催されて以来既に18回の大会が開催されております。2004年には八千代三田会との親睦対抗試合も組み込まれ年間5回の大会が現在の愛好会の行事となっております。今年の初大会は3月10日の八千代三田会との親睦試合で八千代側17名、佐倉側14名が参加し八千代ゴルフクラブで行なわれまし。競技後のアルコール入りのパーティーでは各人の特色ある自己紹介に周囲は笑いに包まれ、最後は全員肩を組んで高らかに“若き血”を歌い、来年の再会を約して散会となりました。

本当に楽しい一日でした。因みに、対抗試合の団体戦の成績は2004年、2006年共に八千代側の勝利。2005年は降雪の為中止。

尚、今年度の競技予定は次の通りです。

八千代三田会との親睦対抗試合	3月10日	八千代GC
第11回定例競技	5月12日	総武cc 印旛コース
オープンファンゴルフ	7月3日	佐倉cc 予定
第12回定例競技	10月13日	場所未定
オープンファンゴルフ	12月11日	佐倉cc 予定

定例ゴルフ大会が全員ハンディキャップの下で順位を競う公式競技であるのに対し、オープンファンゴルフは順位を競わずプレイ後に軽く一杯やりながらの歓談を楽しむ懇親会であります。

いつも奥様方の参加があって和気藹々の会合となっておりますが、尚一層の盛り上がりの為に1人でも多くの女性の参加をお願いしたいと思います。

愛好会の会員数は41名となっております。これからは団塊の世代の方々からの入会者も増えることが予想されますので、精々楽しいゴルフの集団に成長出来ますよう世話役一同微力を尽くしたいと考えております。

(S35 法卒) ゴルフ愛好会 会長 下山 博

忘年会



平成17年12月4日(日)、昨年と同じ印旛沼湖畔の割烹ふくべで、29名が集まり楽しく開催いたしました。ビンゴゲームやカラオケで大いに盛り上がりましたが、更に多くの方に参加いただければと思います。

今年も12月に開催する予定ですが、大勢のご参加をお待ちしています。楽しいアトラクションなど、皆さんのアイデアをお聞かせ下さい。 幹事

三田会サロン

サロン幹事: 永井瑞枝

第3回 川村記念美術館

平成17年5月21日(土)、川村記念美術館に行きました。参加者は大木さん、佐藤陸三さん、佐藤忠夫さん、信宮さん、



新保さん、宗田さん、永田さん、私永井と息子の真行の9名でした。

少人数でしたが文字通りの五月晴れに恵まれ、季節の花々に囲まれ、都会では絶対にならないような清浄な空気を胸一杯吸い込み、佐倉の春を満喫した一日でした。

(S58 文卒) 永井瑞枝

第4回 ヴァンガード ミュージカル鑑賞

平成17年10月30日(日)、ユウカリが丘のフレンチレストラン・ヴァンガードで「ブロードウェイ・ミュージカル」をテーマとして音楽と食事を楽しむ会を35名の参加を得て行ないました。音楽はピアノ柘山りょう、歌柘山了子両氏のご協力を得て行なわれました。当日の内容の概略は次ぎのとおりになっています。

1. ニューヨークのブロードウェイミュージカルまでに到る過程を歴史的に考察しました。即ち、ミュージカルのルーツはイタリアの「オペラ」、オペラから独立した「オペラ・ブッフア」という喜歌劇が生まれ、イギリスに渡り「コミック・オペラ」となり、オーストラリアでは「オペレッタ」として人気を集めた。アメリカではダンス主体の「レビュー」と合わさって「ミュージカル」となった。その中心がニューヨークのブロードウェイ。音楽、演劇、舞踊のあらゆる要素が多様な形で詰まっている、魅惑的な世界のミュージカル。
 2. 年代順に有名なミュージカルの紹介が行なわれた。
- ❖ 1927年初演の「Show Boat」。この輝かしきブロードウェイ・ミュージカルの原点であり、ブロードウェイの歴史に燦然と輝く古典的は名作の中で歌われた、感動的な名曲「オール

マンリヴァー」

- ❖ 1935年初演の「Porgy and Bess」。名曲「Summer Time」が静かに流れるアメリカン・フォークオペラの代表となる珠玉の名作。本作品のヒット曲「Summer Time」は今でも歌われる名曲。
- ❖ 1949年初演の「South Pacific」。美しいメロディーの宝庫で、これぞミュージカルのお手本。この中での「Balihai」、「魅惑の夜」は有名
- ❖ 1956年初演の「My Fair Lady」。今も世界中で愛されているミュージカルの中のミュージカルといえる作品。「踊り明かそう」・「スペインの雨」など、そのメロディーな豊潤にしてエレガント。
- ❖ 1959年初演の「The Sound of Music」。誰もが楽しめるファミリー・ミュージカルの名作。「ジュリー・アンドリュース」主演の映画版も大変有名。「ドレミの歌」・「エーデルワイス」など覚えやすい佳曲がい。
- ❖ 1975年初演の「A Chorus Line」。決して舞台正面中央に立たない「コーラスダンサー」を講えた人生への讃歌を謳う、恐らくは「20世紀を代表するミュージカル」だといえる。全員が金色の燕尾服とシルクハットに身を包み「One」を大合唱するフィナーレの舞台は圧巻である

佐倉三田会会長 大木利之助

第5回 ウィンストンホテル 多田真鋤先生講演会



「第5回佐倉三田会サロン」は、平成18年2月25日(土)正午よりウィンストンホテルにおいて開催されました。当日は25名の会員が参加され、会食後

に母校の多田真鋤法学部名誉教授をお招きし、「平成政変(小泉改革)の意義」と題して講演が行われました。

講演は2時間余りでしたが、参加会員のみなさんは熱心に聞き入り、また質疑応答も活発に行われました。

「久しぶりにアカデミックな雰囲気味わった」、「問題の本質を問う内容であった」、「気さくに意見交換ができた」等々の感想も聞かれ、好評のうちに終了しました。

先生は講演の冒頭で、戦後の60年間に起きた大きな政変として1960年代当時の岸内閣による安保改正、1972年の角福総裁選挙、そして2005年9月の小泉自民党の圧勝を挙げております。とりわけ小泉自民党の圧勝は、金権派閥政治のひとつの終焉とともに「自民党をぶっ壊す」との考えが実現してきたものとして、このような新しい政情を「平成の政変」と命名されました。

一方、この間に日本は経済大国への進展と裏腹に、社会的な連帯感が薄れていく過程で国民の国家意識の低下は否定できず、平

成期に入ってからマス・デモクラシーのポピュリズム化(衆愚化)は一段と進み、いわゆる衆愚政治に陥没しつつあるとの考えを示されました。更に、日本の民主政治においては、「理想国家論」すなわち国民が将来目標とすべき理想的な国家像がまったく喪失しているとも付言されました。

そういう意味においては、今回小泉自民党が圧勝したとはいえ、その例外ではなく、自民党のみならず野党各党についても同様の厳しい指摘をしております。

このような憂慮すべき事態に鑑み、先生は倫理的社会主義(倫理性のある社会主義思想)の復権が急務であると提言されました。

「倫理性」とは日本の伝統的な人間愛に満ちた「惻隱の情」、「思いやりの心」に通じるものであり、このような倫理的社会主義は新しい世界秩序を形成する上で再評価すべき思想であるとして講演をしめくられました。

このたびの講演は、物質文明(物)と精神文化(心)のアンバランスが問われている中で、拝金主義がはびこり、倫理が著しく劣化しつつある日本の現代社会への警鐘とも受けとれ、それはまた日本国家の本質にかかわる大きな問題提起との印象を強くした次第です。

(S36 政卒) 永田 修

今次三田会総会 特別講演について



「日本の誇り・能楽」
上記のテーマで第六回佐倉三田会総会当日、観世流シテ方能楽師九世橋岡久太郎氏に講演をしていただきます。

同氏は昭和33年9月に鬼才と謳われた重要無形文化財総合指定

保持者 八世 橋岡久馬氏(佐倉三田会会員、平成16年3月ご逝去、享年80歳)の長男として東京・赤坂に生まれ、3歳で初舞台を踏み、8歳の時にはヨーロッパ7ヶ国において、シテを演じられました。

平成7年5月、日本芸術院会員、能楽協会会長を務め、名人と謳われた観世流シテ方能楽師の祖父 七世 橋岡久太郎(昭和38年9月ご逝去)の名を襲名、九世 橋岡久太郎となられました。これまで十数ヶ国三十都市で能公演を手掛け、国内外を問わず大学、文化団体等で演能、講師を務め、国際文化交流及び能楽の普及に寄与されました。

更には、能楽本来の伝統を守りつつ、新芸能や他ジャンルとの舞台活動にも積極的に取組まれております。

(S38 経卒) 保谷貞男